

何故、Superwool 607 HTなのか？



欧州連合 (EU) の人造非晶質 (シリケート) 繊維の危険分類について

Fact sheet 1

序論と要点

1997年に、欧州委員会が人造非晶質 (シリケート) 繊維 (MMVF) をEU指令 67/548/EEC¹ の危険物質リストに加えました。この指令は物質の具体的な危険により分類し、包装、ラベル表示と製品安全データシート (MSDS) を通じて、顧客に危険有害性について周知させる事を求めています。人造非晶質繊維 (MMVF) に対する分類の枠組みは、複雑ですが、このFact Sheetでは、以下のように要約します：



- いくつかの人造非晶質繊維は発がん性分類のカテゴリー 2 (人に対して発がん性があると考えらるべき物質) に分類されています。
- 殆どの人造非晶質繊維は既定事項として、発がん性分類のカテゴリー 3 (発がんへの影響の可能性が懸念される物質) に分類されています。しかし、これらの人造非晶質繊維はもしEU指令²で特定する基準を満たすならば、発がん性分類カテゴリー 3 から除外してよい事になります。

高温断熱繊維に関しては、この枠組みがセラミックファイバー (RCF) をカテゴリー 2 である発がん物質に分類し、スーパーウール製品はどのような発がん物質の分類法からも適用を除外されています。

EUにおける発がん性危険分類の重要性について

カテゴリー 2 発がん物質としてのEUのRCFの分類は、EU全体と個々の加盟国でいくつかのそれに基づく規制を制定させました。これらは、使用を制限し人間の健康と環境に与える影響の可能性を最小にするために、加盟国によってRCFの使用と暴露を制限する処置対策の実行を要求しています。

対策には以下のことを含みます：

- 製造者や供給者が、RCFを一般消費者によって使用されるような市場に流通させる事を禁止する。(指令76/769/EEC)
- RCFを使用している雇用者は、労働者の健康のリスクを減らすような代替品やRCF製品を探すことを必要とし、あるいはRCFを含んでいる場合、作業場の暴露濃度を技術的に達成できる最低レベルに下げたための処置を講じることを要求する。(指令2004/37/EC)
- 危険物質としての取扱いにより、使用済みRCFは公認された廃棄物処理業者によって、適切に認可を受けた埋立地に運搬と廃棄を行うこと。

これらの実施された対策は、カテゴリー 2 の発がん性分類に分類されたことにより、RCFの使用と市場開発に影響をもたらし、RCFの製造会社、供給者そしてユーザーに規則遵守の為のコスト増加をもたらしました。

それらは、スーパーウール製品にはあてはまりません³。

注釈 1 欧州委員会によって指令97/69/ECに改められています。

注釈 2 指令67/548/EECのNota QとRを見てください。

注釈 3 スーパーウールは、指令67/548/EECのNota Qで、発がん性物質分類法から適用を除外される基準を満たしています。

Superwool® 607 HT®

その上、EU加盟国は、その国ごとの労働者保護処置、例えば作業暴露濃度の設定を制定する権利があります。多くの加盟国は、1997年の分類制定からMMVFに対し低い作業暴露濃度基準を導入しました。

設置された又は提案されている低い作業暴露濃度基準のいくつかは、ヨーロッパでRCFの利用を困難にします。

なぜスーパーウール607 HTなのか

長年、ヨーロッパの高温断熱繊維工業会 (ECFIA⁴、www.ecfia.org) は、次のような製品管理プログラムを行っています：

- 人間への影響研究：例えば人の健康調査と繊維の生物学的影響の研究を支援。
- 暴露評価：職場と職場のモニタリングの調査。(ヨーロッパでの製品管理は、CARE (管理・低減された暴露) プログラムとして知られています)。
- 製品開発：より少ない粉じんの発生の可能性または、発がん性の分類から除外される必要条件を満たす可能性のある新しい材料の追求。
- 特別研究：廃棄物としての研究、上に述べたような実施事項についての案内パンフレットの製作、製品安全データシート、安全な取扱いガイドライン等々。

スーパーウール607 HTの開発とマーケティングは、この製品管理プログラムへのサーマルセラミックスの約束の結果です。スーパーウール607 HTはサーマルセラミックスのスーパーウール製品において最新の高温断熱繊維で、大部分のRCFに対して技術的に、経済的に代替出来る最初の製品となります。

注釈4 ECFIAの加盟会社は、RCFや他の高温断熱繊維を製造し、供給しています。

 **Thermal Ceramics**
A World Force in Heat Management

詳細はwww.thermalceramics.comまたはお客様窓口までお問い合わせください

info@thermalceramics.co.jp

tel: 03-5207-7641

fax: 03-5207-7659

www.thermalceramics.com/superwool
www.thermalceramics.co.jp